

科目名	神経障害理学療法学特論	担当教員	伊藤 俊輔 小川 峻一 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR41CD	②、③					

科目概要	「神経障害理学療法学」、「神経障害理学療法学演習」、「神経障害理学療法学実習」、「神経疾患理学療法学」で学習した脳卒中や神経筋疾患、脊髄損傷を中心とした中枢神経疾患に関する知識をもとに、中枢神経障害における具体的な場面を想定した課題について、問題解決型学習を中心に実践する。課題の中から解剖学的・症候学的視点から治療アプローチの関連性について理解を深め、臨床的思考能力を養う。また、グループワーク形式を用いて、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上を目的とする。
学習目標	中枢疾患に関わる理学療法士として臨床現場で働くだけでなく、地域社会に貢献するために必要な専門知識と問題解決能力を身につける。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	脳卒中1	脳卒中の病態	脳卒中の病態を理解できる。	小川
2	脳卒中2	脳卒中の理学療法評価	脳卒中の適切な理学療法評価を理解する。	小川
3	脳卒中3	脳卒中の治療1	脳卒中の適切な理学療法治療を理解する。	小川
4	脳卒中4	脳卒中の治療2	脳卒中の適切な理学療法治療を理解する。	小川
5	神経筋疾患1	神経筋疾患の病態1	神経筋疾患の病態を理解できる。	伊藤
6	神経筋疾患2	神経筋疾患の病態2	神経筋疾患の病態を理解できる。	伊藤
7	神経筋疾患3	神経筋疾患の理学療法評価1	神経筋疾患の適切な理学療法評価を理解する。	伊藤
8	神経筋疾患4	神経筋疾患の理学療法評価2	神経筋疾患の適切な理学療法評価を理解する。	伊藤
9	神経筋疾患5	神経筋疾患の治療1	神経筋疾患の適切な理学療法治療を理解する。	伊藤
10	神経筋疾患6	神経筋疾患の治療2	神経筋疾患の適切な理学療法治療を理解する。	伊藤
11	脊髄損傷1	脊髄損傷の病態、理学療法評価	脊髄損傷の病態、適切な理学療法評価を理解する。	伊藤
12	脊髄損傷2	脊髄損傷の理学療法評価、治療	脊髄損傷の適切な理学療法治療を理解する。	伊藤
13	小児疾患1	小児疾患の病態、理学療法評価	小児疾患の病態、適切な理学療法評価を理解する。	小川

14	小児疾患 2	小児疾患の治療	小児疾患の適切な理学療法治療を理解する。	小川
15	まとめ	神経疾患に関する総復習	様々な神経障害分野に関する病態、理学療法評価、治療を理解、説明できる。	伊藤 小川
評価方法		筆記試験（100%）		
課題に対するフィードバック		講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		なし		
参考図書		医療情報科学研究所・編『病気がみえる vol.7 脳・神経』メディックメディア、2017年 潮見泰藏・編『ビジュアル実践リハ 脳・神経系リハビリテーション -カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ-』羊土社、2012年 福井園彦、他・編著『脳卒中最前線 第4版』医歯薬出版、2009年 大畑光司、他・責任編集『神経障害理学療法学 I 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト』中山書店、2011年 大畑光司、他・責任編集『神経障害理学療法学 II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト』中山書店、2012年 森山英樹・責任編集『理学療法評価学 I 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト』中山書店、2013年 森山英樹・責任編集『理学療法評価学 II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト』中山書店、2013年 細田多穂・監『小児理学療法学テキスト 改定第3版』南江堂、2018年 岩崎洋・編著『脊髄損傷理学療法マニュアル 第3版』文光堂、2020年		
学習の準備		1.（予習）神経障害理学療法学、神経障害理学療法学演習、神経障害理学療法学実習、神経筋疾患理学療法学の内容を復習しておくこと（90分） 2.（復習）授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと（90分）		
オフィスアワー		月曜日 10時～16時、その他在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				